

この1年間をふりかえり 2014 年度へ歩み出すための

あの手この手

ふりかえり号
2014年4月1日発行

2013.04 ~ 2014.03 (69号⇒80号)

4月号～9月号までの表紙絵は 夢耕作さん



4月号 若葉の大井川鉄道駅。駿河から徳山の途中、養鶏場から見た蒸気機関車です。「トンネルをぬけると…真っ黒だった！」



5月号 群馬県安中市の「農業生産法人」を訪ね、養鶏場を見学した時のにぎやかなニワトリの思い出です。



6月号 梅雨に入ると、こんな光景を思い出します。“スゲガサにゴザ”の姿で田植えをしました。



7月号 「ねむの木で、みんなスヤスヤねむってる」美しい淡紅色、香りは桃のようです。



8月号 「海あそび」 遠い昔の思い出。今でも子どもはこんな感じで、遊びの名人。



9月号 「十五夜に向かって」 喧騒のがれ、静かな宇宙でお月見を。

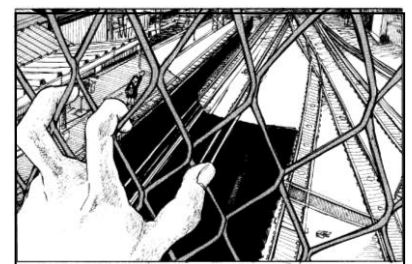
10月号～3月号までの表紙絵は 大澄 剛さん



10月号 中央林間駅（東急・小田急線） 「駅」って、なんでしょう。街の顔？ 街の中心？ 毎日の日常生活の、また時には人生の結節点かも。彼の帰りを待つ。



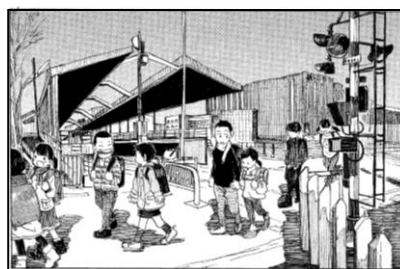
11月号 つきみ野駅（東急田園都市線） 夜、仕事帰りのサラリーマン男性。ローソンでお土産のスイーツを買い、電話で「今帰る～♪」



12月号 相模大塚駅（相鉄線） 高校生どうしのお友達。「またね～」駅のガードネット越しに、彼女を見送っています。



1月号 大和駅（小田急・相鉄線） 成人式が終わりました。「今日は飲みに行っちゃおうか…フッ」。華やかな駅前。



2月号 高座渋谷駅（小田急線） 「寒さに負けるな！」元気な小学校児童たちが踏切を列をつくって下校です。この近くからは「冬の富士」が見えます。



3月号 南林間駅（小田急線） 「卒業おめでとう！」「これからも電話かけちゃうよ。」「なんか嬉しいけど、な～んか寂しいな…」

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

あの手この手

毎月1日発行の大和市民活動センター広報紙です。発行数は500部、その内半分は宅配メールでの直接配送を行っています。毎月の市民活動イベント紹介やコラム「協働スタイル」、講演セミナー、市民活動推進補助金制度・協働事業提案等のお知らせをしてきました。また「登録団体等の情報が少ない」の意見も寄せられています。第81号からの来年度は、登録団体の記事掲載をより増やした紙面構成をしていきます。表紙絵は、大和市8駅(市在住、漫画家大澄さん)のイラストから「イラストコンペ」(大和市主催)や、「夢を生きるアートコンテスト」(ソロプチミストやまとe)の入賞者たちに引継がれていきます。

ニューズレター・HP

毎月15日発信のメール便「ニューズレター」、タイミングよく更新されたHP(ホームページ)は便利なインターネット配信です。今期の「ニューズレター」はVol. 111からのスタートです。リンク機能を多くして詳細を参照できるようにします。一方、HPに関しては要改善のアドバイスをいただき、これからは更新の容易なHPにしていきたいと…。

マスメディア

FMやまと(77.7MHZ) 毎月奇数隔週の火曜日 9:00からは、～やまとっ☆みつけた～に出演です。この1時間生番組も昨年度は第180～206回となり、市民活動団体の紹介を続けてきました。また活動イベントやトピックス等も掲示している「タウンニュース」大和版、「リベルタ」大和・相模原南部版、そして「神奈川新聞」や「相模経済新聞」等はセンターでも閲覧できます。

ボランティア推進

中・高・大学生を中心に「ボランティア活動のきっかけづくり」を社会資源の活用として進めています。社会へ出るための一つの体験でもあります。色々な内容(視覚障害者と卓球、引地川の清掃、知的障害児と遊ぶ、コンサートの裏方、提供品の整理・接客など)で参加しました。夏休み学生ボランティア体験「このゆびとまれっ!」はじめ、延べ200人を超えました。参加者は大和市民活動センター「オリエンテーション」で受入れ側のガイドを聞きます。参加校の綾瀬高・柏木学園高・湘南大高・鶴川高・桐朋高・昭和女子大付属校・洗足学園高・相模向陽館高・大和中・下福田中つきみ野中の生徒ほか、卒業生も参加してくれました。

ネットワーク

大和市民活動センターの登録団体は現在245。各々が手を広げ合い、更に大きなネットワークを作っていきます。また「イーパーツPC寄贈プログラム」を通して神奈川県8市の市民活動センター間の情報網ができました。市民活動課を通した、大和市や行政情報はタイムリーで、協働事業の大きなメリットです。多くの市民活動センターが参加してボランティア活動推進会議も行ないます。また教育や研修のご縁で、他県からの広報紙も届けられています。「大和市民活動センターにあれば何かがある」そんなセンターを目指しています。

カッコーフェスタ

市民活動団体交流まつり(活交～カッコー)も第8回となりました。11月9日(土)・10日(日)は大和市の“産業フェア”と同日です。今回は、より市民活動まつりの方向に向かって「参加型セミナー」を企画しました。従来の「景品付きスタンプラリー」をやめて、参加団体各自が会議室の割り当て時間内のワークショップを行いました。講演あり、手芸、エアロビクス、説明会やJICA活動の記録など独自の活動アピールを行いました。参加人数は両日で約2800人。昨年より大幅に減ったとはいえ、人寄せのスタンプラリーを市民活動「ワークショップ」に変えたり、人の流れが大きく変わった(大和市商工会議所の催しが駅前プロムナードに移って)ハンディーを乗り越えての大健闘でした。今年度は参加団体のアイデアを更に企画に取り込んで、よりネットワークをひろげた「市民活動まつり」を目指します。



カッコーフェスタの「カッコちゃん」

① 交流と共育の推進



団体交流会のピーチクパーチク

団体交流会

～ひろげよう 市民活動の“わ”～
第5回大和市民活動センター登録団体交流会が7月21日(日)14:00～17:00 渋谷学習センター(IKOZA)で行われました。参加12団体・33名が「名刺交換ゲーム」、ワークショップ「シャッター街の活用」や「3分間PRタイム」などで会場を盛り上げました。「団体同士の“つながり”“顔つなぎ”に大いに役立つ」のコメント内容もあり、今年もより効果的な広場となるよう日時・内容・広報の仕方など検討していきます。交流会後、団体同士でジョイント活動をしたり、他団体のイベントに特別参加して応援をする“きっかけ”作りにもなったようです。「名刺交換」から「活動交流」が生まれていくことは、このイベントが目指すところです。



国際交流フェスティバル

3月16日(日)10:00～15:00 大和駅前東プロムナードにブースを設けて、大和市国際化協会主催の「第9回やまと国際交流フェスティバル」に参加しました。通りがかった外国籍住民の方々を中心に、パネルに貼ったマークシールは16各国・212人を数えました。母国の国旗を描いてもらったり、「こんにちは」「ありがとう」も書いてもらいました。バイバイの代わりに母国語で「ありがとう」を言うと、笑顔で手を振ってくれました。会場にはエスニック料理店が並び、はなやかな歌・踊りのステージと一緒ですので、参加の仕方も検討しなくてはなりません。来年度は登録団体の中から、特に海外活動や外国語に関した団体が中心になって企画をし、実行委員会等が結成できるよう、参加方法を模索しています。

PC・プロジェクター

パソコンから印刷したり、プロジェクターにつないでプレゼンテーション・映画会・勉強会など貸出件数は年約150回と増えています。子ども会がプロジェクター・スクリーンを借りて行き、「なかよし映画会」の様子を写真に撮って見せてくれました。最近では多くの団体が“ブルーレイ対応”になってきています。独自に器具を購入していて、逆にセンター側がお借りしたこともありました。

印刷・コピー

高速プリンターを主に、印刷機は多くの団体が使用しています。特に総会を控えた期末時は、印刷枚数も増えます。年に数百件の利用があります。が、ここでも“紙ばなれ”でしょうか、以前と比較しますと4割方減っています。USBメモリーを携帯して、必要なところだけを保存したり指定ページで印刷する団体が増えました。利用件数・枚数のダントツ1番は「神年協大和分会歩こう会」。定期的に本部へ活動範囲の情報を送り、丁合された情報紙が送られてくるそうです。

② 情報の収集および提供

市民活動に関する5つの事業 この1年



大和市民活動センター

⑤ 施設および設備の提供

会議室・多目的ルーム

1時間200円の会議室、100円の多目的ルーム、昨年と利用件数を比較すると会議室は減り、多目的ルームは増えました。利用人数は大体同数の、合わせて約5000人です。予約はその月を含めた3か月先まで電話予約できますが、曜日によっては複数の団体で時間が重なることがあります。20人収容会議室が1つだけで、人数が多い場合「近くの青少年センターが予約できましたので、キャンセルします。」の連絡も多くあります。今年度も大きなイベントは「勤労福祉会館」や「渋谷学習センター(IKOZA)」での開催を予定しています。

③ 社会資源の創出および発信



④ 相談や研修

図書・資料の整備

市民活動や大和市に関する資料は、寄贈・購入や配布出版物として部数は増えてはいますが、規模の小さなものです。掲示スタックは数えると60、残念ながら他の市民活動センターの何分の一かの規模です。でも検索機能や毎月15日発信のメール「ニューズレター」に掲示内容を載せて、お知らせできるよう努めています。皆さんの活動内容を、市民に向かって広く伝達していくことも、このセンターの大きな役割です。

新しい公共への促進

行政だけに公共を委ねるのではなく、市民・市民団体・事業者・行政のみんなで知恵を出し合いながら、地域社会の現場から公共の課題を発見・共有・解決していこう、という考え方。中間支援施設として、市民活動を推進するために必要な、社会資源の活用コーディネートこれからも続けます。これらのことは、大和市民活動センターの運営団体「拠点やまと」の業務目的です。大和市民活動課「協働事業・市民活動推進補助金制度」の相談窓口も担います。

コーディネート・研修・相談

毎年「活動支援」や「市民活動団体マッチング」は数十軒あります。また「補助金相談」や「協働事業相談」など市民活動の拡大発展に関する相談等、更に対応が広がるように努めています。今年度も県内の市民活動センターを回って見学・研修や意見交換をしてきました。今年度からは月曜日を「一般相談」木曜日を「パソコン相談」として、関連活動団体やスタッフを配置ながら、対応ができるようにしていきます。

連続共育セミナー

当日まで申し込みが続いた日本財団・山田さんのセミナー、インフルエンザで6名がキャンセルの3月セミナー。下記セミナーを行ないました。
6月26日(水)「活動計算書」を作成しませんか 板倉幸子
9月21日(土) 活動の展開から見えてきたもの
～補助金事業から協働事業へ～
食のアトリエ・CAPひまわり
栄養サポートやまと・社会福祉の会やまと
12月14日(土) 活動の展開から見えてきたもの
～活動の継続には何が必要か～
地域家族しんちゃんハウス・ケアびーくる
ふくしの手全員集合・ドラマチックカンパニー
1月29日(水) 市民活動・NPOのいまどき 山田泰久
～「インターネット」広報事情の基礎!～
3月19日(水) 市民活動のために
「書くこと」にこだわってみよう 鈴野和重

次回63回「連続共育セミナー」は 市民活動のために「伝えること」にこだわってみよう 5月31日(土)を予定しています。



この1年「大和市の」シリーズ 大和市の現在と過去を再確認

4月号 シリーズ(1) ～大いなる和～



50年前の大和市庁舎

合併・分村問題が発生し、1891年(明治24年)に村名を大和村と改称し「大和」の名が生まれました。色々な町村の動きもあり、1956年(昭和31年)大和町が渋谷村を編入合併して現在の大和域ができました。



地球裏側はブラジル南端の海

10月号 シリーズ(7) ～位置：地球の裏は～

大和市役所の位置は、東経139°27'40" 北緯35°29'03"です。その地球の裏側は海。あえて近くの大都市を探すとブラジルのポルトアレグレ「陽気な港」です。

5月号 シリーズ(2) ～月見野遺跡群～



つきみ野駅前 遺跡群看板

大和市の遺跡は古く、旧石器時代の約2万年以上前のものがあります。月見野遺跡群は旧石器時代のもので、市立図書館、つる舞の里歴史資料館で詳しい情報がわかります。



大和市の色 わかみどり

11月号 シリーズ(8) ～カラー：わかみどり～

大和市のシンボルカラーは日本特有の「わかみどり」。色相・明度・彩度など言葉では表せません。萌えるみどり色。「みどり」の意味<若い・新しい・新鮮な>緑色です。

6月号 シリーズ(3) ～FM やまと～



パーソナリティーのジョニーさん

「KANAGAWA おへそラジオ」でお馴染みのコミュニティ放送局です。1997年の開局以来、地域の情報を送り続けています。東日本大震災のときは、130時間放送し続け、「災害時、眠らなかつたラジオFM やまと」として、他の局でも紹介されました。



大和市の花 野菊

12月号 シリーズ(9) ～「花」：野菊～

「キクの野生種」の総称。昭和44年一般公募により、最も多かった自然な美しさを持ち野生の趣がある「野菊」に決定しました。キク科植物は日本に約350種あります。大和市の公園などではノコンギク、カントウヨメナ、ユウカギク、シロヨメナなどが見られます。



大和市民活動センター

7月号 シリーズ(4) ～大和市民活動センター～

市民活動課と「拠点やまと」が、市民活動の推進・共に育ち合う場として協働事業で運営しています。2004年11月1日に大和市民活動センターがオープンしました。



大和市の鳥 オナガ

1月号 シリーズ(10) ～「鳥」：オナガ～

スズメ目カラス科です。ここ10年間、急に数が減った鳥としても有名です。集団で長い青い尾を伸ばして飛ぶ姿は見事です。



相鉄・小田急・東急の電車

8月号 シリーズ(5) ～駅：市内に8つ～

大和市内8つの駅をご存知ですか?大和には、小田急線・相鉄線・田園都市線が乗り入れています。大和市民活動センターは、大和の中心にある大和駅から2分の所にあります。



大和市の協働事業

2月号 シリーズ(11) ～協働事業～

かつて協働トップランナーと言われた大和。「新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づき、協働事業が根づいてきました。

9月号 シリーズ(6) ～人口 23万人～



大和市人口 23万人

人口231,544、世帯数100,453(平成25年8月)となっています。市制となった1959年(昭和34年)の人口は3万5千人ですから、年々3.6%近くの増加率です。また人口の約2%、約40人に1人は外国籍の方で、出身国は約70か国に及び国際色豊かな大和です。



大和市の〒と☎

3月号 シリーズ(12) ～郵便番号 242 市外局番 046～

大和市の郵便番号は〒242。では大和市の電話番号は? かつて厚木 MA(単位料金区域)内として0462(XX)でしたが、加入者の増加に伴い1999年7月20日から046(2XX)となりました。

今年は大和市民活動センター設立10周年

「あの手この手」2013年度ふりかえり号 発行日・2014年4月1日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>

〒242-0021 大和市中 1-5-1

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

URL: www.kyodounokiyoten.com